

B—4 エリザベス朝の女性の服装（二）

大阪市大 林田喜美子

1. エリザベス朝の時代の女性は、非常に精巧な衣服を着用していた。（大体1533年から1603年までの間）

この時代の女性の衣服を研究して現代の被服デザインに参考となるべき点を見いだしたいと考えた。

2. 数多くの西洋服装史の書籍および博物館等の展示物の中から資料を求めた。また *Costume of the Western World* 中の *Fashion of the Renaissance* (James Laver) や *The Elizabethan Woman* (Carroll Camden) が参考になった。

また *Costume in the Drama of Shakespeare and his Contemporaries* (M. Channing Linthicum) やシェクスピアの名作品からも得るところが多かった。

3. 衣生活の向上に伴い次々と新しいデザインが生まれるが、それ等の根底には、常に古い西洋の衣服の歴史が息づいている。エリザベス朝の女性の衣服の精巧さ豪華さは現代の被服デザインや被服工作の上に影響を与えていることが多く、あらためて西洋の衣生活の文化的遺産の大きさを感銘させられた。